

# 標準施工要領書

タイトワン ローラー

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷5-4-6

TEL 048(297)4111 FAX 048(290)1198

## 1. 特 長

- ・材 質 カチオン性アクリル粉末樹脂入り既調合セメントモルタル
- ・施工方法 ローラー塗り
- ・用 途 薄塗材、複層仕上げ塗材への仲介下地調整  
陶磁器タイル、大理石、テラゾー等への仲介下地調整  
コンクリート、モルタル、ALC等の下地調整
- ・適用下地 コンクリート、モルタル、薄塗材C・E、防水型を除く複層仕上げ塗材（アクリル系、ウレタン系）、磁器タイル、Pタイル接着剤（アクリル系、エポキシ系）、テラゾー等

## 2. 工 程

工 程	材 料 ・ 調 合	施工器具	使 用 量	塗回数	間隔時間
主材塗り	タイトワン ローラー 主 材：15kg 清 水：4.5～5.7ℓ (標準混連水量 5.0～5.7ℓ)	ローラー	1.6kg/m <sup>2</sup> (1mmの場合)	1～2	23℃で 12時間以上

※上記の数値は全て標準のものです。施工下地、温度等環境条件により多少のずれが生じることがあります。

## 3. 工 法

### 3-1 下地処理

- 1) 下地表面のレイタンス・ほこり・油脂等は、ケレン及び水洗いにて除去してください。
- 2) 脆弱な無機質下地の場合は、浸透プライマー又はガッチリ浸透プライマーWで下地強化してください。
- 3) 補修の際は、下地が躯体に対して十分な接着力があるか確認してください。  
十分な接着力のない場合はケレンしてください。
- 4) 下地に撥水剤が塗布してある場合は、接着できないものもあります。あらかじめテストを行い、確認してください。また、ワックス類が塗ってある床仕上げ材の場合、ワックスクリーナー等で洗い落としてから施工してください。
- 5) ポリエステル、FRP、アルミニウム、ステンレス、軟質塩ビ、油面には接着できません。

### 3-2 混練方法

- 1) 練りませ容器に、まず清水を4.5～5.2ℓ入れ、主材パウダーを徐々に加えながらハンドミキサー等でペースト状に練り上げます。使用目的に合わせ0.50程度の清水を加えて、施工に適した粘度に調整します。

2) 一度に混ぜ合わせる量は、可使時間（夏期 30 分、冬期 60 分）以内に使いきる量とします。

### 3-3 主材塗り

- 1) 凹部は事前にタイトワン コテ等で処理しておきます。
- 2) 施工はローラーで均一に塗りつけます。塗りつけは下地が透けない程度に 2 回塗りをします。
- 3) 部分補修すると、その部分の吸込み性が異なり、仕上げ材の色ムラの原因となります。従って、均一な仕上げの為には、全面処理を必要とします。

## 4. 注意事項

- 1) 可使時間（夏期 30 分以内、冬期 60 分以内）を過ぎた材料を無理に練り戻して施工することは避けてください。硬化不良の原因となります。
- 2) 強風時での施工及び施工後 12 時間以内に降雨のおそれがある場合は、施工を避けてください。また、3℃以下での施工も硬化が十分に果せませんので避けてください。
- 3) 下地が多少湿っていても施工できますが、濡れている場合は拭き取ってから施工してください。
- 4) タイトワンローラーの上にセメントモルタルを施工する場合は、ガッチリ浸透プライマーWを塗布するかポリマーセメントモルタルとして施工してください。
- 5) 主材パウダーは水硬性ですので、水や湿気には十分注意して保管ください。
- 6) 清水以外のものは混入しないでください。
- 7) 材料の取扱いについては、製品に記載された注意事項をよく読んでからご使用ください。その他詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 5. 梱包形態

	内 容 量 (kg)	形 態	標準施工面積 (m <sup>2</sup> )
15kg	パウダー : 15	紙 袋	12.5 ( t =1 mmの場合)